

令和元事業年度

決算報告書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

国立大学法人千葉大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人 千葉大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,092	18,337	245	(注1)
うち補正予算による追加	-	32	32	
施設整備費補助金	3,143	2,018	△ 1,124	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	742	1,169	427	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	53	53	-	
自己収入	44,196	45,694	1,498	
授業料、入学料及び検定料収入	7,883	7,778	△ 104	(注4)
附属病院収入	35,051	36,297	1,246	(注5)
財産処分収入	-	126	126	(注6)
雑収入	1,262	1,492	230	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,813	6,274	461	(注8)
引当金取崩	317	398	80	(注9)
長期借入金収入	8,233	6,256	△ 1,976	(注10)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	80,590	80,203	△ 386	
支出				
業務費	60,875	60,310	△ 564	(注11)
教育研究経費	24,152	23,673	△ 478	
うち授業料免除枠	-	1	1	
うち設備災害復旧事業	-	2	2	
診療経費	36,723	36,637	△ 86	
施設整備費	11,429	8,328	△ 3,101	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	742	1,169	427	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,813	5,970	157	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,729	1,747	17	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	126	126	(注16)
計	80,590	77,652	△ 2,937	
収入 - 支出	-	2,551	2,551	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が245百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金の増加及び事業の一部を令和2年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が1,124百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の増加及び事業の一部を令和2年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が427百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数・志願者数が見込者数を下回ったこと等により、予算額に比して決算額が104百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、主として入院・外来診療単価の増加により、予算額に比して決算額が1,246百万円多額となっております。
- (注6) 財産処分収入については、亥鼻地区(医学部)の土地の一部を売却したため、予算額に比して決算額が126百万円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、主として講習料収入、TLO事業収入等の増加により、予算額に比して決算額が230百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として寄附金収入・受託研究収入の増加及び共同研究収入の減少のため、合算して予算額に比して決算額が461百万円多額となっております。
- (注9) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金等の取崩を行ったため、予算額に比して決算額が80百万円多額となっております。
- (注10) 長期借入金収入については、主として事業の一部を令和2年度に繰越したため、予算額に比して決算額が1,976百万円少額となっております。
- (注11) 業務費については、主として附属病院における医薬品費の削減及び計画の一部を令和2年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が564百万円少額となっております。
- (注12) 施設整備費については、(注2)及び(注10)に示した理由により、予算額に比して決算額が3,101百万円少額となっております。
- (注13) 補助金等については、主として(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が427百万円多額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が157百万円多額となっております。
- (注15) 予算段階より長期借入金償還金の増額が発生したことにより、予算額に比して決算額が17百万円多額となっております。
- (注16) (注6)の財産処分収入を施設費納付金として大学改革支援・学位授与機構へ納付したため、予算額に比して決算額が126百万円多額となっております。